

年頭のごあいさつ

岡山県知事 加藤 武 徳

県民のみなさま

昭和40年の輝かしい新春を迎え心からおよろこびを申しあげます。

昨年11月、みなさまの絶大なご支持をいただきまして知事に就任いたしました私にとりましては、久しぶりに故郷の山河に接しながら迎える新年でございます。まことに感慨ひとしお深いものがございます。しかし、県政のうえでは来る年ごとに重要な年でありますので、身のひきしまる思いでいっぱいでございます。

ご承知のように、本県は年ごとに輝かしい未来に向ってたくましい邁進をつづけておりますので、私は、この栄光への道を県勢振興計画を軸にして、県の東、西、南、北の地域がひとしくともどもに栄え、明るくたのしい県民生活ができる岡山県を築くために、三木前知事の尊い遺産である人類愛、人間尊重の精神を絆として血の通った、きめの細かい県政を着実に進めてまいりたいと覚悟を新たにしております。

とくに、本年は待望の県南広域都市の建設という世紀の大事業をはじめ、農業の近代化はもとより、地域開発の促進、福祉計画の実施、中国縦貫自動車道の建設、瀬戸大橋架橋ならびに山陽新幹線の建設促進、文教施策の充実など岡山県の発展のいしずえとして欠くことのできない重要課題が控えておりますので、これらの1つ1つに焦点をあわせて、その

実現に精魂をかたむけたいと決意をかためております。

この新しい年が県民のみなさまによりよい年でありますように心からお祈りいたしますとともに、きょう

からの1日、1日を岡山県の発展のために意義のあるようにするために、このうえとも県民のみなさまのご協力をたまわりますよう、せつにお願い申しあげまして、新年のごあいさつにいたす次第でございます。

昭和40年元旦

